



星と稲

伊米ヶ崎小学校 学校だより

N020

発行日 平成 31 年 3 月 7 日

発行者 校長 佐藤吉宏

【星と稲の訓】 朝に星を戴きて出で 努め励みて 我が伊米ヶ崎校及び伊米ヶ崎村の発展を期さん

六年生を送る会 3月1日



ステージを通過して入場する6年生1人1人に実行委員から紹介アナウンス。得意なことや活躍した場面、お世話になったこと、特徴を掴んだ紹介は、その人の笑顔や真剣な眼差しを思い起こさせます。胸が熱くなる思いがします。1・2年生は元気なダンス、3年生は6年生へのエール、4年生はくす玉わり、5年生は歌とともに思い出を語った後に、なかよし班ごとに書き込んだ色紙のプレゼント。どれもが6年生への有難うにあふれていました。5年生は全校行事を自らつくる最初の場合、ちょっと緊張した表情が初々しかったです。6年生からは劇のプレゼント。場面ごとに活動に協力してくれた下級生へのお礼の言葉がたくさんちりばめられていました。その姿はまた下級生の新たな「あこがれ」そして目標に繋がることでしょう。

***** ようこそ先輩 公民館共催事業 2月22日



今回の先輩は(株)ホンダウイング高橋社長 高橋広人さんをお招きしました。演題は「人と人とのつながりを大切に」です。高橋さん自身がお店を経営する中で気づいたこと、地域にあるお店だからこそ必要なこととお話してくださいました。お客様とのつながり、お客様同士のつながり、それがお店を支え、地域を支えることに繋がっていくと熱く語ってくださいました。

前回、地域の皆さんからたくさんの学びの機会をいただいていることをお伝えしましたが、この「ようこそ先輩」もその大切な学びの場です。

何を大切に考えてこの会を行っているのか。それは人としての構えを学ぶ機会にしたいと考えてのことです。知識がどんなにあっても、埋もれた知識では意味がありません。繋いで考え、意味づけ、役立てるのはその人の構えです。何をつなげて考えるか？何を軸に結び付けるか？科学的

な興味関心、人のつながり、地域活性化・・・いろんな窓で考えてみることで自分が大事にしたいものが見えてきます。そして、少しずつ自分の構えが形になります。人に学ぶ機会はその構えをつくっていくきっかけです。出会いが多ければチャンスも多くなります。



中越学童親善クロスカントリースキー大会

2月24日（日）、マウンテンパーク津南クロスカントリースキーコースで、第37回中越学童親善クロスカントリースキー大会（兼第2回新潟県小学生クロスカントリースキー大会）が開催されました。当校からは3人の選手が出場しました。



- | | | |
|------|-------|--|
| 5年男子 | 南雲 心 | 上り坂が多くて大変だったけれど最後まで滑り切れてよかったです。来年も中越大会に出たいので頑張ります。 |
| 6年女子 | 坂大 日胡 | ストックのつき方や滑り方など今まで教えてもらったことを生かして、去年以上の成績を収められてよかったです。 |
| 6年男子 | 小島 空雅 | 周りの選手が速くて付いていくのが大変だったけれど、教えてもらったことを生かして、最後まで滑り切れてよかったです。 |



晴天と前日の積雪でコースコンディションはとてもいい感じでした。けれど、出場した子どもたちからはアップダウンの多いコースで大変だったと聞きました。そんな難コースでしたが、3人とも最後まで気を抜かず、攻め切ったようです。



6年生からプレゼント

「今までの感謝の気持ちを込めて作りました。どうぞ使ってください。」と6年生からCDプレーヤーのカバーが贈呈されました。1～5年生の代表は「ありがとうございます。大切に使います」の言葉とともにしっかりと受け取りました。6年生の卒業制作ともいえそうなこのプレゼントは、家庭科の裁縫学習を兼ねて作成したそうです。

チョークの粉や埃で故障してしまうことも多いCDプレーヤーですので、カバーは必需品。うれしいプレゼントでした。